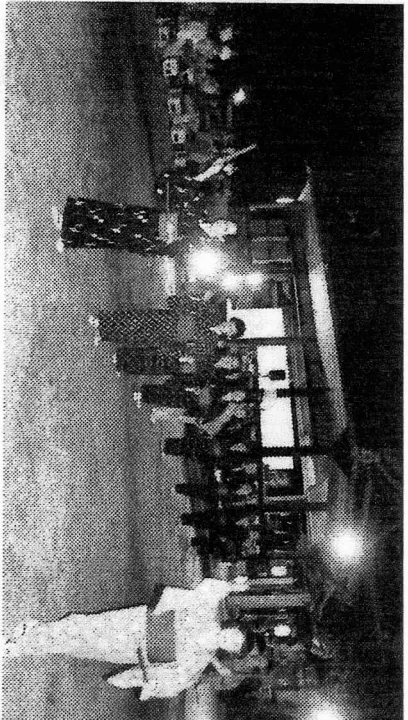


# 天王さんでお月見コサート

## 備後絃音頭の周知を図る



あいのまちお月見コ 知や定着を図ろうとい  
う趣旨で立ち上げられ

21日の素盞鳴神社境内で  
行われ、開始  
早々雨が降る  
悪天候だった  
にもかかわらず、  
200人の観衆が詰め  
かけた。  
同企画は、  
備後絃音頭を  
メインにした  
イベントを定  
着させて、地  
域内外への周  
知や定着を図ろうとい

た。主催した「備後絃音頭をつなぐ会」の事務局長・高橋哲夫さんは、「備後絃音頭は、備後絃の産業が全国へ行われ、開始早々雨が降る悪天候だったにもかかわらず、200人の観衆が詰めかけた。」

今日のができること  
が感慨深く思います。  
日頃の暑さや嫌なことを何もかも忘れて、最後まで楽しんでください  
い」と呼びかけた。

境内ではかがり火が炊かれ、神楽殿で戸手高椋箏曲部が、若々しいソロの「輝く季節」(森岡章作曲)を演奏。続いて、神楽殿

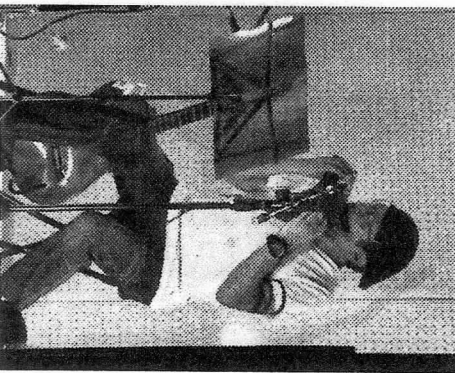
北側で備後絃音頭をつなぐ会メンバー(踊り人・つなぎびと)22人が2列になって「竹踊り」を、輪を描いて「備後絃音頭」を、それぞれ踊った。

ふたび神楽殿をステージにして、子ども三味

線教室の9人(新市中央2年生5人と新市小学校3〜5年生4人)

が「月」と「備後絃音頭」を演奏(唄：平田正樹さん。観客席かや「コンドルは飛んで上げながら、「愛燦燦」や「コンドルは飛んで行く」「岬めぐり」「高原列車は行く」などを演奏。歌も歌い、ギターも弾きながら熱演した。

また、舞台上桂木慧吾さんが登場して日本舞踊「恋の風鈴」を舞い、最後は劉習韻さん、ルートを奏者の今井勉さんが「胡を演奏した。中国の曲「良宵」や日本の曲「シルクロード」や「糸」、「花」などを演奏。続いて、音響なども



出していた。

その後岡山弁での軽妙な「ハナミツキ」を演奏。

と声を揃えた。境内では、新市手打ちそば同好会のかけそばが販売され、社務所内では又キが飾られたお茶席が設けられて、お点前には虎屋本舗の主葉子が添えられた。